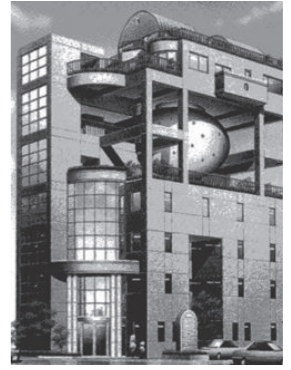


人は楽しむために生まれてきた

日本国民への提言

たまご理論
院長 石垣 邦彦



〒581-0061
大阪府八尾市春日町1-4-4
電話072(991)3398
FAX072(991)4498
ホームページアドレス
http://www.tamagobl.com/

たまご理論で病気のしくみを考える

58

人類よ、めざめよ

日本の国民一人ひとりが、自らの「からだ」の「しくみ」を生かすことで日本を再生する

和田秀樹氏(精神科医)が指摘する「しくみ」(注1)
日本人の価値観は、コロナに感染して死なないためなら、ほかのどんな書を受け入れても平気だ、ということになってしまっている。
順天堂大の奥村康特任教授が今の状況に手厳しい結論を言う(注2)。
「交通事故をゼロにするために、自動車を止めてしまおうという方針に、わたしが前月号で指摘したように、」
「新型コロナウイルスより怖いのは、ゼロリスクを求める人類」という現象だ。
しかし、政府をはじめみなさんの努力の結果、本日5月12日の各紙朝刊で、緊急事態34県一切解除への方向で調整に入ったとの報道があった。
新型コロナウイルスを総合的に診ようという観点に世情も移るようになってきた。良い方向だ。政府も自信をもって強力にすすめていただきたい。前回は引き続き、新型コロナ

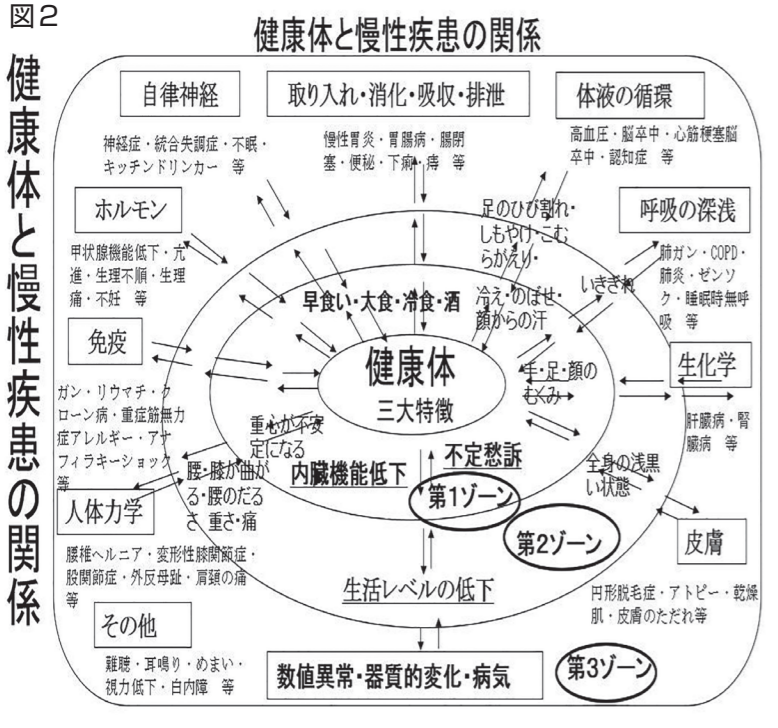
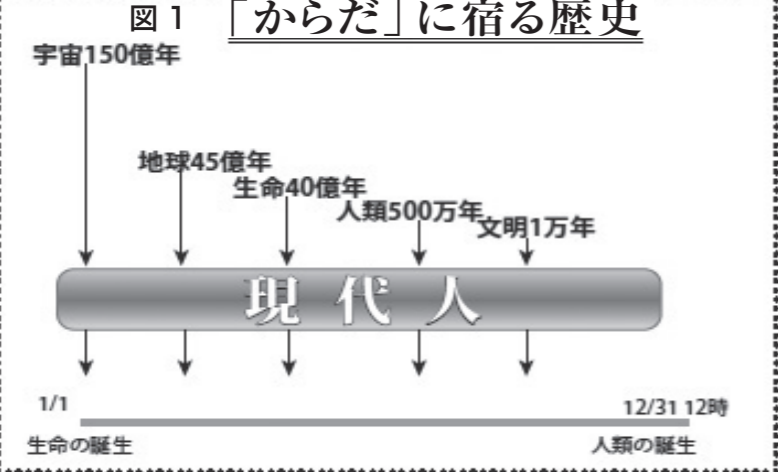


表1 人は楽しむために生まれてきた!
～人間の生死は「上腹部のやわらかさ」が指標となる～

ROB治療で「上腹部のやわらかさ」がやわらかくなると…
「入り出」がととのい、深く長くこごちよい呼吸ができる

- 呼吸が深くない
- 循環が良くない
- 人体力学が安定し
- 自律神経がととのい
- 内臓全般の動きが活発になる

- 生きる力がつく ⇒ 生き方が身につく
- 総合的免疫力がつく ⇒ 予防ができる
- 自然の治癒力がつく ⇒ 治療が的確に
- 自然なバランス力がつく ⇒ 自然なケア
- 自然な死への流れができる ⇒ 穏やかな死

■人間の体の自然な「しくみ」が生かされ
ROB 医療で人生が統合される!!

健康体と慢性疾患の関係
健康体とは、自律神経、呼吸の深浅、体液の循環、ホルモン、免疫、皮膚、消化・吸収・排泄、生化学、内臓機能低下、生活レベルの低下、数値異常・器質の変化・病気、といった要素がバランスよく機能している状態を指す。慢性疾患は、これらの要素のいずれかまたは複数のバランスが崩れることで生じる。

新型コロナウイルスより怖いのは、ゼロリスクを求める人類だ②
コロナショックをコロナチャンスに変えよう

「からだ」の外の関係からみる人類の活動傾向とスモールチェンジの必要性
「からだ」の外の関係からみる人類の活動傾向とスモールチェンジの必要性。現代人の健康・病気の対応の傾向を分析する。この問題の「からだ」の外の関係からみる人類の活動傾向とスモールチェンジの必要性。現代人の健康・病気の対応の傾向を分析する。

大阪万博に基本理念を提案する

「からだ」の外の関係からみる人類の活動傾向とスモールチェンジの必要性。現代人の健康・病気の対応の傾向を分析する。この問題の「からだ」の外の関係からみる人類の活動傾向とスモールチェンジの必要性。現代人の健康・病気の対応の傾向を分析する。

「からだ」の外の関係からみる人類の活動傾向とスモールチェンジの必要性。現代人の健康・病気の対応の傾向を分析する。この問題の「からだ」の外の関係からみる人類の活動傾向とスモールチェンジの必要性。現代人の健康・病気の対応の傾向を分析する。

「からだ」の外の関係からみる人類の活動傾向とスモールチェンジの必要性。現代人の健康・病気の対応の傾向を分析する。この問題の「からだ」の外の関係からみる人類の活動傾向とスモールチェンジの必要性。現代人の健康・病気の対応の傾向を分析する。